



株式会社リソー教育
代表取締役社長
(東京都少年サッカー連盟特別顧問)

天坊 真彦

東京都選抜U-12サッカー大会に出場する選手の皆さん、こんにちは。私たちリソー教育グループは、「TOMAS CUP」という形でこの大会を応援しています。今年で41回目となる長い歴史を持つこの大会は、後に海外のプロリーグやJリーグで活躍することになる選手が小学生のときに出場したこともある伝統ある大会です。そのような大会を私たちがサポートして今年で21回目になりました。こうして長年にわたって本大会をサポートできることは、私たちにとっても大変誇らしく、今後もできる限り応援していきたいと考えています。また、日頃から練習に励んでいる皆さんの実力を発揮する場を、様々な方のご協力のもと、こうして開催できることを大変嬉しく思います。

この大会に出場する選手の皆さんは、東京都の各ブロックから選抜された選りすぐりの精鋭たちであると聞いています。これは、皆さんの日頃の努力の賜物であり、また、非常に幸運なことでもあると思います。皆さんは日々のトレーニングを通じて、技術の上達だけでなく、チームワーク・フェアプレーの精神・スポーツマンシップ・思いやり・友情・感謝の心といった大切なことをたくさん学んできたことでしょう。この大会を通じて、皆さんがさらに心豊かな人間として成長することを願って止みません。そして、皆さんが成長し、今後様々な舞台で活躍することで、この大会がさらに伝統あるものに成長していくことを期待しています。

選手の保護者の皆様、私たちリソー教育グループは、「勉強プラスワン」という教育理念を掲げています。お子さまにとって、勉強はもちろん大事ですが、習い事やスポーツに打ち込むことも大切です。それらを通じて、様々な目標に正面から立ち向かって頑張っている子どもたちを、当社は全力で応援したいと考えます。そして自分の好きなことに打ち込むなかで、豊かな情操を育み、「生きる力、生き抜く力」が養われるのだと思います。リソー教育グループは、少しでもその助けになりたいという想いで、これからもスポーツ・芸術・文化支援活動を始めとする社会貢献活動に取り組んでまいります。

いまサッカー界では10代の若手選手の台頭が目覚ましく、中でも東京都内のチームに所属していた選手たちがプロの舞台で躍進していることは非常に喜ばしいことです。日本代表も2026年FIFAワールドカップの出場権を驚異的な強さで勝ち取りました。メンバーの大半は海外のチームでプレーしており、世界でも通用できることを証明しています。世界や日本で活躍している選手たちもまた、TOMAS CUPをはじめとするたくさんの試合経験を経て成長していきました。

さあ、「TOMAS CUP」の開幕です。チームの勝利のために、ゲーム終了のホイッスルが鳴るまであきらめることなく、ゴールを目指し続ける皆さんの熱いプレーを楽しみにしています。選手の皆さん一人ひとりが周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。



東京都少年サッカー連盟
委員長

石神 朋治

本年も「TOMAS CUP 第41回 東京都選抜U-12サッカー大会」を、リソー教育グループ様のご協賛により開催できることを、心より御礼申し上げます。また、稲城市および稲城市サッカー連盟の皆様には、素晴らしい会場をご提供いただき、重ねて感謝申し上げます。

今年度、東京都には808チームが登録され、約4万人の少年少女が日々ボールを追いかけ、夢に向かって活動が続いています。本大会は、そうした選手たちの中から選ばれた精鋭たちが一堂に会し、挑戦する貴重な機会です。本大会が、選手の皆様にとって単なる競技の場にとどまらず、将来に向けた新たな一歩となることを心より願っております。日々の鍛錬を通じて身につけた技術や精神力、そして仲間との絆は、皆様の人生を力強く支える糧となることでしょう。

今後、選手の皆様が国内のみならず、海外においても活躍されることを期待するとともに、本大会がその礎となるよう、引き続き質の高い育成の場を提供してまいります。

少年サッカーのさらなる発展と人間的成長に焦点を当て、チームワークとフェアプレーを大切にしながら、選手一人ひとりが自分の可能性を信じ、果敢にチャレンジしてくれることを期待しています。

未来に向かって大きく羽ばたく選手の皆様へ、心からの敬意とエールをお送り申し上げます。